

「イノベーション探究Ⅱ」～グローバル・ジャスティスプログラム～ 第10回

1. 実施日

令和4年10月1日（土）1、2限

2. 場所

多目的教室

3. 対象

グローバル科2年生（6・7組）

4. 講師

鳥羽高等学校 教諭 山中脩平 三嶋千代子 藤原久美子 中村啓介
TA（卒業生2名）

5. 内容

1限は、研究報告書 Ver. 2の記入に向けて、これまでの探究の過程を振り返る。アカデミック・ライティング講座で学習した内容を踏まえて、発表内容を構成する。4月から中間発表までに、探究してきた過程を説明できるようにする。

2限は中間発表に向けて研究報告書 Ver. 2の記入をする。特に本時では、「4. 現時点の仮説」の項目まで記入することを目標とする。

6. 学び

探究の過程を振り返ることで、探究の全体像を俯瞰することができた。その結果、改めて探究課題を理解できたようで、リサーチクエスチョンを明らかにするために、「さらに調査が必要じゃないか」、「こんな調査をするべきじゃないか」というような会話が生まれた。複数のチームにこの行動が観察できたので、学習者は探究の過程を振り返ることで、探究課題に対する新しい見方・考え方を獲得したと考えられる。

7. 次回への課題

本時で研究報告書 Ver. 2を完成できなかったチームは発表原稿、想定問答集作成を並行して作成する必要がある。

8. 本時の振り返り

各チームとも会話内容の“熱量”が高く感じた。この段階で提案される調査内容も精度が高く、各チームの探究のオリジナリティを高めるものであった。インターネットでの調べ学習から、フィールドワークを伴うような調査に変化してきた。例年はもう少し早い時期にこの変化が生まれるのだが、今年だけのものなかは、引き続き検討したい。